



第7回

引数 (5.1～5.6)

AJ科 宮川 治

概要1

- 引数（資料では引数としてあるが、仮引数と実引数を補足する。）
 - 仮引数
 - 振る舞い（メソッド）の宣言部分の引数。変数に近い概念であり、実引数により初期化される。
 - 仮引数名はキャメルケース
 - 実引数
 - 振る舞いの呼び出しで渡される値（引数）。
 - 実引数は何時も同じ値になるとは限らない。
 - Javaの場合は値渡し

概要2

- 2重の繰り返しの回避
 - 繰り返しの振る舞い(メソッド)内での隠蔽
- メソッド間での変数スコープの独立
 - for制御文での同じ変数名の使用
 - ローカル変数の概念

[設問]

- 仮引数名のキャメルケースの判断
- 仮引数と実引数の弁別
- リテラルの弁別
 - 振る舞い呼び出しによるリテラルの違いの弁別
 - リテラルと変数での違いや確認
- インデントミスの弁別
- スコープの問題(変数名での実引数)
 - 再代入での値の確認